

# えんだよい 1がつごう

2024・1・5

発行: 桜本保育園

044(288)2545



2024年が はじまりました。新年早々 地震や飛行機事故、火災など 大切な人やものが 一瞬にして 無くなってしまいう出来事が おきています。心が 穏やかでいられない人たちが たくさんいることと思います。 悲しみを 受け止めながら この後の日々が 安寧に 暮らしていけることを お祈りいたします。

今年 は 十二支では「辰年」です。この十二支は 古代の中国で考えられたもの。日本では 丑はうし、寅はとら、卯はうさぎ、辰はたつ、巳はへび、午はうま、未はひつじ、申はさる、酉はとり、戌はいぬ、亥はいのししのことを 表しています。でも 国によっては 動物が ちがうそうです。韓国では 亥ではなく 豚です。特に「辰」は 架空の動物なので ちがうことが多いそうですよ。この 十二支のことを こどもたちに つたえている たのしい絵本が あります。「じゅうにしのはじまり」「十二支のお節料理」「十二支のしんねんかい」などです。十二支の動物を どうやってきめたのか、お正月の準備では どのようなことをするのか、それぞれの動物の役割などが 書かれている 絵本です。大人も 読んでいて 楽しい本です。おこさんと いっしょに 読んでみるのはいかがですか？ (P)

## 今月の聖句

「導き」

「主は羊飼、わたしには何も欠けることがない。主はわたしを青草の原に休ませ、憩いの水のほとりに伴い、魂を生き返らせてくださる。主は御名にふさわしく、わたしを正しい道に導かれる。」  
(詩編23編1~3節)

새해 복 많이 받으세요. あけましておめでとうございます。新年、皆さまの健康が守られ、神さまの平安と祝福が豊かにありますよう、お祈り申し上げます。

2023年はコロナ禍の生活からようやく以前のような日常が戻りつつある一年だったと思います。2024年、新しい年を迎え、「今年こそ…」と気持ちを新たにスタートされたことでしょうか。そんな年の初め、石川県をはじめとする地域で地震が発生し甚大な被害をもたらしています。不安のなかで過ごされている方々を覚え、一日も早い回復をお祈りいたします。

今月の聖句において詩人は、「わたしには何も欠けることがない。主はわたしを青草の原に休ませ、憩いの水のほとりに伴い、魂を生き返らせてくださる」と、神さまへの揺るぎない信頼と感謝を歌っています。まるで親の愛情に包まれ、安心しているむじゃきな幼子のようにですが、4節に「死の影の谷を行く」ような経験や、5節に「苦しめる者」から迫害を受ける経験もしているのでしょうか。にもかかわらず、そこからあふれ出る魂の平安を、この詩全体を通じて歌いあげています。

それは「主は御名にふさわしく、わたしを正しい道に導かれる」からだ と告白しています。神さまは羊飼いのように一人ひとりをこよなく愛し、守り、安全な道に導いてくださると信頼しているからでしょう。

人も一人では生きていくことはできません。人生は大きな出来事や日常生活のごく小さな事柄に至るまで、誰かの支えや助けなしにはありえないということを忘れてはならないでしょう。5節に「あなたはわたしに食卓を整えてくださる」とあるように、苦しみに追われているものを安全な道に導き、食卓まで用意してくださると歌っています。どんなに苦しみのなかにも人も安心して過ごしてほしい、これこそが神さまの願いであり、望みではないでしょうか。

2024年、厳しい現実にも直面しても、誰もが互いを受け入れ、助け合い、支え合い、共に力を合わせ、一步一步 進む年でありますように願っております。

(チャブレン 鄭富京)

あけましておめでとうございます  
Happy New Year  
Feliz Ano Novo  
새해 복 많이 받으세요  
Feliz año nuevo  
新年快乐  
chúc mừng năm mới  
Maligayang bagong Taon  
Malipayong Bag-ong tuig

News・おしらせ・알림・balita

☆予定

- 1月 17日(水) 園児健診
- 20日(土) 병아리・ちゅうりっぷ・무궁화・별님・달님 クラス 懇談会
- 2月 10日(土) すぱーすPAZ
- 17日(土) 햇님클래스 懇談会
- 22日(木) 바톤타치의회

☆退園しました。무궁화클래스

☆新しいスタッフがはいます。

週3日程度

Noticias・通知・Tin tức

げんきでね

よろしくおねがいます

こんげつの フォト

わくわくひろば  
くりすますかい!

ページェントを  
みんなでみたよ

おみそしるの  
しめじさき~

ふゆの さむいひは  
あしゆが いちばん

ねんまつのおおそうじ  
ここもここも いつのま  
にか かいだんまで

